

都民版

都内版編集室
千代田区大手町
1の7の1
読売新聞東京本社内
〒100-8055
電話(3217)1465
1466
FAX(3217)1468
tomin@yomiuri.com

都民版広告
(5226)9925
折込チラシ
0120-03-4343

購読申し込み
0120-4343-81



昨年の隅田川花火大会の様子(手前は東京スカイツリー、本社へりから)

東京の夏の風物詩・隅田川花火大会(読売新聞東京本社など協賛)が、今年は7月25日に開催されることが10日決まった。同花火大会は今年で38回目。午後7時5分~同8時半に約2万発が打ち上げら

れる。荒天の場合は翌26日に順延し、両日ともに実施できなければ中止となる。

大会実行委員会による「市民協賛金」は、墨田区側が1□6000円で、台東区側は1□7500円と

3万円の2種類。申し込み方法と募集期間は後日発表される。問い合わせは墨田区(03・5608・1111)へ。



ハナミズキを植樹するケネディ駐日大使(右)(10日、世田谷区の都立園芸高校で)
つけ、遠い未来まで花を咲かせ続ける。100年前にもらった桜への感謝の気持ちも込めて、「スピーチした。

日米友好ハナミズキケネディ大使ら植樹
都立園芸高校(世田谷区)で10日、日米友好の証として知られるハナミズキの苗木の植樹式が行われ、キヤロライン・ケネディ駐日米国大使らが出席した。

同校には米国が1915年に日本に贈ったハナミズキの苗木40本のうち、現存が確認できる最後の1本が育っている。同校によると、12年、当時の尾崎行雄東京市長が米国に桜の苗木を寄

贈。その育成に、同校の熊谷八十三・初代校長がたずさわった縁で、同校にもハナミズキが寄贈されたという。植樹式では、同校内の庭園に高さ約1mの苗木2本が新たに植えられた。ケネディ大使は植樹を終えた後、生徒らを前に「今日植えた木々は日米両国を結び

